

表情シート

A4サイズのシートに表情が20種類。「表情ポスター」の40の表情から、子ども達が日常的によく使う20の表情を選びました。手で使える大きさで、また、同じシートが10枚セットで入っていますので、グループでの使用に適しています。使用時に配布して、使い終わったら回収すると、何回も使用できます。

表面の凹凸加工は、指でなぞって触感を楽しんだり、上から紙を敷いて、鉛筆で表情が浮かび上がらせることもできます。

使い方

一人ひとりにシートを配布することで、教室での様々な活動後の振り返りで自分の気持ちをモニタリングしたり、それぞれの表情に自分なりのネーミングをして、気持ちを表現する言葉を増やすことができます。また、グループでの話し合いに活用する場合は、ひとつの表情を選んで、それぞれがそういう気持ちになるときのエピソードを話し合ったり、そういう時は、どうしてほしいかを聞き合ったりすることもできます。

活用場面

●道徳や総合学習の感情教育、友達作りの時間における集団学習の際に。

こんな使い方も…

ある幼稚園では、シートの中から子どもに表情を選んでもらい、その顔を子ども自身が紙に描いたあと、体や手足を書き足す遊びをしています。



¥3,990 (税込)

A4表情シート10枚
説明書(使用例付)
寸法/シート 210×297mm
外箱: 227×315×10mm

監修: 本田 恵子 (早稲田大学教育学部教授)
著者: 本田 恵子・鈴木 眞理 (臨床心理士)

インタビュー してきました。

表情シート

インタビューに答えてくださったのは、元小学校の先生です。

作文を書くときに、表情シートを使ってみました。

いきなり書き出せない子には、シートを使って「昨日の夜はどんな気持ちだった?」と聞き、そこから何があったのか、おしゃべりをします。そうすると、書く内容がたくさん思い出されるので、作文を書く際にスムーズに書き始めることができました。

また、出来事だけを羅列したような作文を書いている子には、その時感じたことを盛り込んで、内容を深めてもらいたいと思い、文を書いている途中で表情シートを使って、「これをやったときはどんな気持ちだったの?」というふうに五感で感じたことを引き出すきっかけにしています。

表情カードをもとに作文づくりをしても面白いかもしれませんね。

